

# やまがた 赤い羽根通信【第9号】

社会福祉法人山形県共同募金会 ☎023-622-5482



遅ればせながら、令和8年度もよろしくお願ひいたします R8/5/7 発行

## NPO 法人らっふる(寒河江市) の寄付付き商品の取組み

寒河江市の指定障がい者福祉サービス事業所「らっふる」(生活介護・就労継続支援 B 型)は、令和6年度募金から昨年9月に利用者を送迎するための軽ワゴン車に対して「福祉車両整備事業」で配分した施設です。

「らっふる」は、このことをきっかけに、昨年10月から12月までの間、募金活動(寄付付き商品の製造販売)に取り組んでいただきました。本県では自動販売機以外の寄付付き商品は初めての取組みです。

今号では、敬意と感謝を込めて「らっふる」の概要と取組みについてご紹介します。

「らっふる」には、西村山1市4町と天童市、中山町から利用者が通所しており、その作業内容は、マフラー、バッグ等の手織製品やお菓子(チーズケーキ、クッキー等)づくりが中心です。

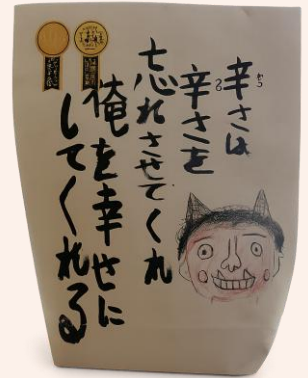


赤い羽根車と日本財団車

ちなみにやまがた食産業クラスター協議会が主催した「第5回やまがた土産菓子コンテスト」においては、名だたるお菓子屋さんからの出品を抑え、「らっふる」の「辛オニさま」(寒河江の唐辛子を



らっふるのお菓子



辛オニさま

使用したクッキー)が最優秀賞とパッケージデザイン賞を受賞しています。唐辛子が入った刺激のあるクッキーを作ってみようというのは職員のアイデアで、パッケージは利用者が考え形にしたものだそうです。

「らっふる」のお菓子は JA さがえ西村山の直売施設で販売しているほか、イベント出店、子どもたちのおやつとして市内5箇所の保育所等に納めているとのことでした。

助成に対して善意の寄付付き商品でお返しいただいたことは嬉しいかぎりであり、令和7年度募金運動において「らっふる」からお菓子の売り上げの2% 13,577円を寒河江市募金委員会に募金していただきました。ありがとうございました。

### JA さがえ西村山アグリランド産直センターの売場



## 事業名への 「赤い羽根」の表記について

令和 7 年度募金の配分で実施する事業から事業名の先頭に「赤い羽根」をつけていただきたいという依頼をしております。

これは、「赤い羽根共同募金は何に使われているのかわからない」という声が依然として多いことや、皆様からの善意で寄付していただいたお金を財源にしているということを明示することが主な目的です。

また、特に新興住宅地の若い世帯から共同募金に対して理解が得にくくなってきているとの実態を踏まえ、協力をお願いする際の説得材料として、「身近なこんな取組みにも募金が使われている」ことを分かりやすく示すことができるという意味あいもあります。

しかしながら冒頭に「赤い羽根」をつけてもらうというのはあくまでも原則であり、例えば共同募金の配分金は事業費の 2 割に過ぎず、8 割は私財から提供されるといった場合に、事業名の頭に「赤い羽根」を付けることはなじまないとの主張は理解できますので、そこは必ずしも画一的に取り扱うつもりはありません。

疑義が生じた場合は担当にご相談いただければと思いますが、「この事業は赤い羽根共同募金の支援を受けている」ことを明確に示すことが何よりも重要であることをご理解願います。



## 募金委員会間の 情報交換会はいかがですか？

各市町村募金委員会の担当者の皆様は、社会福祉協議会に籍を置きながら一定の年数にわたって共同募金の仕事に従事していただいている方がほとんどだと思えます。

しかしながら、募金委員会同士での交流は少なく、業務上の問題が生じた場合の情報交換や相談もほとんど無いと聞いております。

つきましては、市町村委員会から要望があれば当募金会が音頭を取って、例えばブロック単位で情報交換会を開催してはどうかと考えており、隣の委員会の担当者と名刺交換するだけで

も、問題が発生したり、何かあった場合には電話をして相談やすくなると思います。

勿論、「そんなのは必要がない」ということであれば無理に開催するものではありませんので、各委員会からメールで意思表示していただければ幸いです。お待ちしております。



これまで県内で取り組まれている「テーマ型募金」は、こどもの居場所づくり=こども食堂だけです。各県での取り組み状況を紹介します。(出典：中央共同募金会ホームページ)

## テーマ -地域から孤立をなくす-

### 「コーヒーでつながる居場所づくり」

(団体名 盛岡市社会福祉協議会)(活動地域 盛岡市)

#### 【活動内容】

孤立しがちな方やその家族に、外出や他者との交流機会を確保しながら「コーヒーの淹れ方講座」を通して、新たな役割の獲得や参加者の興味関心を引き出し、地域住民とのつながる場所づくりを目指します。

【目標額 28万円】



## テーマ -子育て支援-

### 「子どもの声に耳をすます」

(団体名 チャイルドラインあきた)(活動地域 秋田市)

#### 【活動内容】

チャイルドラインあきたには、辛い気持ちを聴いてほしいという全国の子どもたちからたくさんの問い合わせがあります。

私たちは子どもに寄り添い、少しでも多くの声を聴いて心の負担を軽くすることを目的として活動しています。皆様からのご支援をお待ちしております。

【目標額 30万円】



## テーマ -災害に強いまちづくり-

### 「市民の防災意識啓発事業」

(団体名 白山市災害ボランティアコーディネーター会) (活動地域 白山市内)

#### 【活動内容】

近年の地震や豪雨災害で市民の防災意識は少しずつ高まりつつありますが、子どもから高齢者のまで幅広い世代を対象に、防災意識の高揚及び防災行動力の向上を目的として、誰もが気軽に参加できる体験型学習(ワークショップ)や防災研修会、防災学習会を開催します。



【目標額 15万円】

## テーマ -持続可能な地域づくり-

### 「みんなの心に光を灯すライト付き防犯ブザーを届けたい」

(団体名 公益財団法人被害者支援センターとちぎ) (活動地域 栃木県)

#### 【活動内容】

犯罪や交通事故の被害者がご家族等は、事件から数年経過しても精神的な不安を抱き、一人で外出することに抵抗感がある人もいます。被害者の不安をやわらげるため、さまざまな犯罪や交通事故の防止につなげるためライト付き防犯ブザーをお渡ししたいと思います

【目標額 30万8千円】

犯罪や交通事故の被害者やご家族等は、事件から数年経過しても精神的な不安を抱き、一人で外出することに抵抗を感じる方もいます。相談に乗られた被害者等の不安をやわらげ日常を取り戻していただくため、また、さまざまな犯罪や交通事故の防止につながるため、各種広報啓発のイベントに訪れた皆さんにもライト付き防犯ブザーをお渡ししたいと思います。赤い羽根共同募金を通じて、皆様からのご寄付・運かいご支援をお願いいたします。

公益財団法人  
被害者支援センターとちぎ  
〒320-0043 宇都宮市桜4丁目2番2号  
栃木県立美術館館内分館2F  
TEL 028-623-6600  
<https://www.tochigi-shien.jp>